学校通信
# けやき小
教育目標　確かな一歩



令和８年１０月１日
西東京市立けやき小学校

けやき小学校ホームページ
「けやき小学校ホームページ」で検索してください

e-mail　e-keyaki@nishitokyo.ed.jp

## 秋の夜長と読書と

校長　前田　元

１０月となりました。今年は、秋を感じるというよりも、天候不順を感じる日が多いような気がいたします。それでも、日が暮れるのは早くなり、秋の夜長という言葉を実感する季節となりました。１０月は雨も多いですが、過ごしやすい季節です。そのため、１年間の教育活動の中心となるような活動がたくさん予定されている月でもあります。特に、学習は、その学年で学ぶことの肝となる内容が詰まっている時期です。難しいと感じるお子さんもいるかもしれません。そのような中でも充実した１か月を過ごしてほしいと願っています。

秋には様々な言われ方があります。「スポーツの秋」「食欲の秋」「読書の秋」などです。私などは、「食欲の秋」という言葉に強く引き付けられてしまいますが、ここでは「読書の秋」を取り上げたいと思います。

みなさんは、日常的に読書をされますか？日常的に大人が読書をしている姿を見ている子どもたちは、自然と本を手に取る機会が多くなります。生活と読書が身近にあるからです。しかしながら、最近はそうもいきません。私たち大人も、日々忙しくしているので、ゆったりと読書をしながらコーヒーをたしなむ午後のひとときなどは、なかなかもつことができません。私などは、そんなゆとりをもちたいと願ってはいますが、願うばかりで実際の行動に移すことは全くできていません。ですが、私自身は読書が好きなのです。今でも年間で４０冊程度は読んでいます。４０冊といっても好きな時代小説ばかりであまり褒められたものではありませんが…。

子どもたちにも読書を楽しんでほしいと思っています。物語を楽しむのもいいでしょう。図鑑でいろいろな知識を得るのもいいでしょう。私もカタログを見るのが好きで、「図鑑と似ているな」と感じることもあります。子どもたちの中には「ゲームの攻略本なら、いくらでも読める」という子もいるかもしれませんね。実際に子どもたちが本に興味を抱くときはどのようなときなのでしょう？

私が子どものころです。家に帰ると母が本を読んでいました。話しかけても生返事ばかりです。「そんなに面白いの？」と尋ねると「これ面白いのよ。少し待って」との言葉でした。そんなやり取りを繰り返すうちに、私は「そんなに面白いのかな？」と興味をもちました。そして母にせがんでその本を貸してもらいました。本の題名は「海底２万マイル」。ジュールベルヌの代表作の一つです。

もうおわかりでしょう。私は、母にまんまと乗せられて本を読むことになってしまったのです。当時の私にとっては長いお話でした。しかし、「今日はここまで読んだよ」と母と語らえたことは私にとって読書を好きになるには、十分な思い出となりました。

こんな経験をしていたので、教師になった際も試してみました。ほとんどの子が「ちょっと見せてよ」と言ってきます。その時に気を付けていたことは、その子が興味や関心がもてるような題材の本を選んでおくことでした。例えば、野球好きの子なら「バッテリー」、ＳＦ好きの子なら「デルトラクエスト」、本格的に読める子なら「ダレンシャン」といった具合です。当然、私も読んで内容を把握しているので、感想を語らいながら、次の本を紹介するようにしていました。

「読書の秋」です。お子様と同じ本を読んで、感想を語らうようなひとときをもつゆとりある１０月となったらとても素敵だと思います。

言うは易し、必死にこの原稿を作っている私が言えることではないのかもしれませんが…。

# 令和８年度　第１回児童アンケート・保護者アンケートの結果について

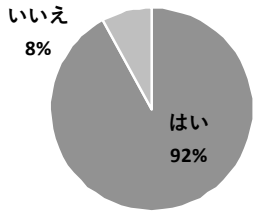
アンケートにご協力いただきありがとうございました。

７月に行われた今年度１回目の児童、保護者のアンケートの結果についてお知らせします。

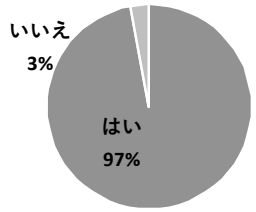
## 児童アンケート集計結果

令和8年7月実施　　回答率：93%

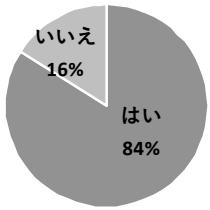
1．学校の授業は楽しく、わかりやすいですか。



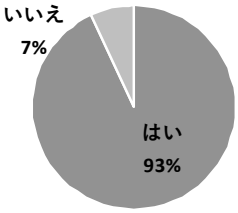

2．先生は、タブレットやテレビモニターなどを活用して授業を行っていますか。



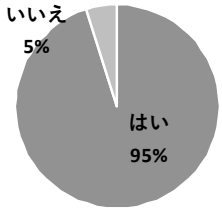

3．本やタブレットを通して、読むことを楽しんでいますか。



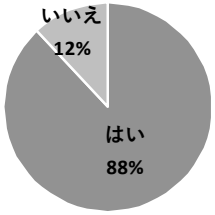

4．友達をいじめない、いじめを見て見ないふりをしないということができていますか。



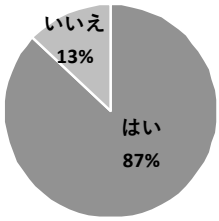

5．友達や先生の話をしっかり聴いていますか。



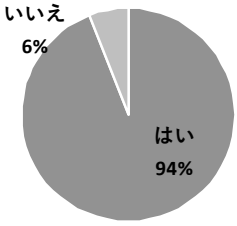

6．友達や先生、外から来たお客様などに、進んであいさつをしていますか。



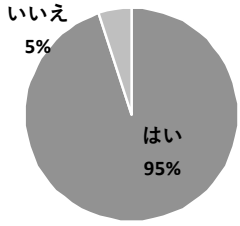

7．健康にすごすために生活を整えたり、運動(体を動かす)したりしていますか。




8．心配ごとがあった時など、先生方はていねいに相談にのってくれますか。




9．先生は工夫して授業を教えてくれますか。




＜児童アンケート＞

・授業のわかりやすさや工夫、相談のしやすさ、いじめについての設問では、肯定的な回答が 90%以上でした。今後も、子どもたちが安心して楽しく学んだり、学校生活を送ったりできるよう、丁寧な対応と指導の徹底を図るようにしていきます。

・友達や先生の話をしっかり聴くことについては、肯定的な回答が 95%でした。子どもたちは聴くことへの意識を高くもっていることが分かりました。子どもたちがしっかり聴こうとする姿を保護者の皆様にお伝してきます。

・健康に過ごすために生活を整えたり、運動をしたりしている児童は 87%でした。今年度も運動週間での大縄や短縄など、楽しく運動の習慣を身につけていけるような取り組みを実施していきます。

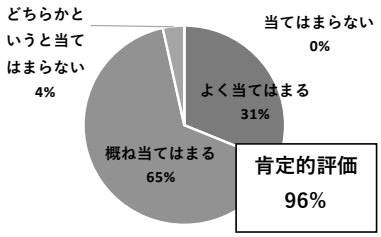
・「すすんで挨拶をしている」については、88%が肯定的に答えていました。今後も教職員の率先垂範など、子どもたちへ働きかけを行い、望ましい挨拶の習慣が身に付くように取り組んでいきます。

・「読むことを楽んでいる」については、肯定的評価が 84%でした。文学だけではなく、科学的な読み物など様々な読み物と触れ合う場を設定して、読むことの楽しさを伝えていくようにしていきます。

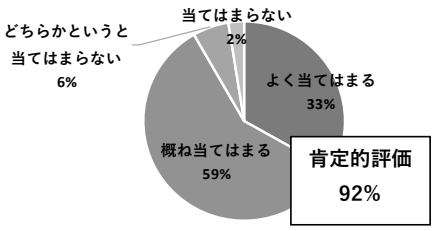
# 保護者アンケート集計結果

令和8年7月実施　　回答率：82%

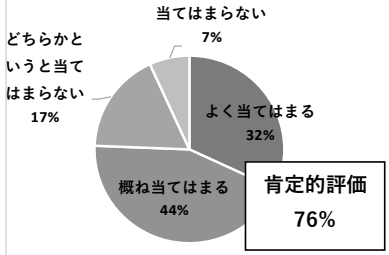
1．学校では子どもにとって分かりやすく、学びのある授業が行われている。



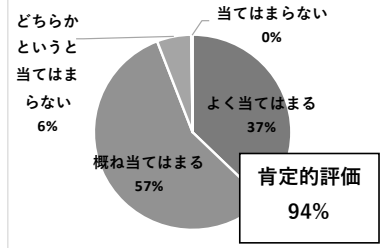

2．学校では、タブレットやテレビモニターなどを活用して授業を行っている。



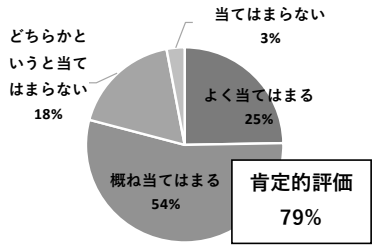

3．お子さんは、本や雑誌、図鑑、タブレットを通して、読むことに親しんでいる。



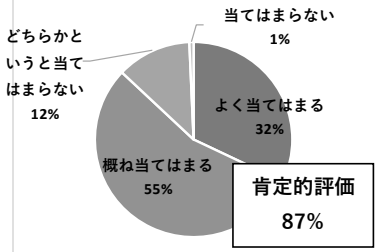

4．お子さんは、友達とお互いのよいところを認め合っている。



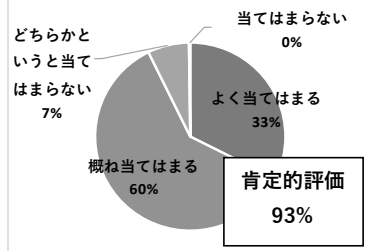

5．お子さんは、人の話をしっかり聴いている。



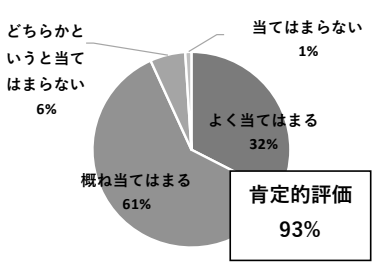

6．お子さんは、気持ちのよい挨拶をしようとしている。



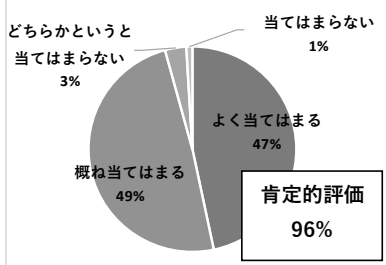

7．お子さんは、基本的な生活や運動の習慣を身に付けようとしている。



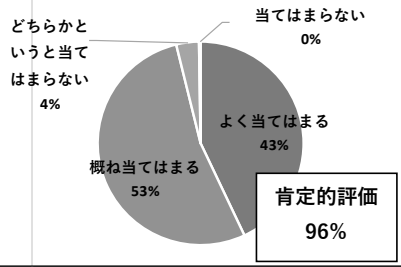

8．学校は、特別支援教育をはじめ、児童一人一人を大切にした教育支援を行っている。



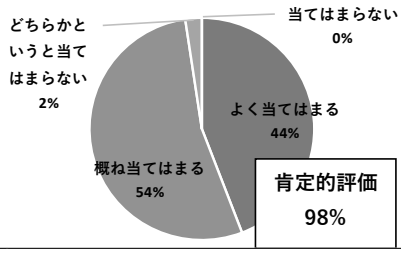

9．教職員の対応は丁寧で、誠実に相談等に応じている。



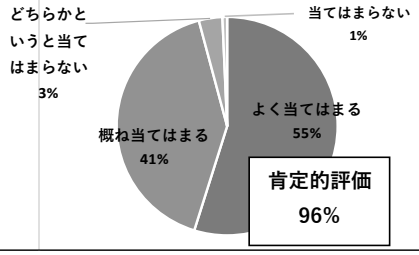

10．教員は工夫して授業を行っている。




11．学校は、施設・設備の安全対策や事故防止、避難訓練に取り組んでいる。




12．学校は地域と連携し、教育方針や日常の様子等を、「すぐーる」、ホームページなどにより情報発信をしている。




＜保護者アンケート＞

・「分かりやすい授業」や「教職員の対応」など多くの項目で肯定的な回答を 95%以上いただきました。今後も継続できるように努力を続けていきます。

・「友達のよいところを認める」については、肯定的評価が 94%でした。こちらについても努力を続けてまいります。

・ＩＣＴ機器の活用については、タブレット等を活用した授業を行うなど力を入れてきた結果、92%の肯定的評価をいただきました。今後も、適切な ICT 機器の活用を進めていきます。

・「読書をしようとしている」については肯定的評価が 76%にとどまりました。今後も、読み聞かせや本の紹介、多読賞の表彰などの取組を継続し、改善を図るようにしていきます。

・「人の話をしっかり聴く」は肯定的評価が 79%でした。子どもたちのしっかり聴いている姿をお伝えできるように努めてまいります。

・「気持ちのよい挨拶」については肯定的評価が 87%でした。教職員によるあいさつの率先垂範などにより、改善を図るようにしていきます。